



自衛隊千葉地方協力本部



機材等の説明を受ける参加者



パネル展示を確認する参加者



羅針盤を確認する参加者

自衛隊千葉地方協力本部 艦艇広報で海上自衛隊への理解促進 特務艇はしだてが館山港入港

自衛隊千葉地方協力本部（本部長 1等海佐 高橋秀典）は7月18日（月）館山港耐震岸壁において、特務艇はしだての一般公開を支援した。

本一般公開は、館山市が主催する海まちフェスタを支援し、自衛隊への理解の促進及び信頼感の醸成を図る目的で実施したもので、県内外から724名の方々に見学していただいた。

本一般公開の実施にあたっては新型コロナウイルス感染症対策の万全を図り開催した。参加者は、まず舷梯を上がり、01甲板後部で記念撮影及び海上自衛隊の各種任務を示したパネル展示を見学した後、02甲板からの眺望及び羅針盤等機材を確認し、艦橋で舵の操作方法や各種モニターの説明受けの順ではしだて内を見学した。また、岸壁においては、乗艦を待っている方々に対しラップ演奏や手旗信号の展示が行われ、待ち時間をストレスなく過ごしてもらおう工夫も為されていた。

参加した方々から「久しぶりに艦艇見学ができて楽しかった」「海上自衛隊の白い制服姿が凛として格好良かった」「護衛艦とまた違う雰囲気があった」との感想が聞かれ、特務艇はしだての協力を得て非常に効果の高い広報活動を実施することが出来た。

千葉地方協力本部は、これからも各関係協力団体及び地域の皆様のご理解ご協力のもと、地域と一体となった募集広報活動を、関係部隊と連携しつつ部員一丸となって推進していく。



艦艇広報全景



乗艦待ち参加者に対する岸壁イベント
（手旗信号の展示）

自衛隊千葉地方協力本部 募集対象者を防衛大学校オープンキャンパスに案内

自衛隊千葉地方協力本部（本部長 1等海佐 高橋秀典）は、7月23日（土）・24日（日）の両日、防衛大学校で実施されたオープンキャンパスに、受験希望者及び保護者34名を引率・案内した。

本事業は、防衛大学校が開催するオープンキャンパスを通じ、参加者の防衛大学校に対する理解と認識を深めていただくために実施したものの、新型コロナウイルス感染拡大防止のため一部内容が縮小されたが、学校長の特別講演や模擬授業等、普段接する機会のない内容であった。

参加者からは「模擬授業が面白かった」、「入試に関する質問に答えてもらい良かった」、「気になっていた学部学科の説明をしてもらい良かった」等の感想があった。更に、姉弟を参加させた保護者からは「まずは姉を防大へ入校させ、その姿を弟に見てもらい2年後には弟も防大へ入校させたい」と家族の将来構想が伺えた。



学科について質問をする参加者



本部庁舎前で記念撮影



記念講堂にて学校長の特別講義